六つ又交差点からも目に留まる外観と立体的なトラック

気軽に散策出来るカフェとショップ

サイクルパーク

東西に広がる劇場都市を繋ぐハブ【Aエリア】

1. 高架下 × 池袋 × 自転車

A エリアは車だけでなくサイクリストの交通量も多い明治通りや春日通りなど 6 つの通りが交わる交差点にあります。この場所にサイクリストのための憩いの場をつくり、稀有な交差点であることを活かした文化発信基地としての空間利用を可能にします。

【対象エリア　A】

2. 運動系施設が強固にするアト・カル

現在池袋は羽田空港からの都心直結線も検討されており、実現されれば世界と直結された芸術文化拠点となります。世界的に漫画・アニメ人気が高まっていますが、その中でも自転車アニメの影響でイベントやコラボが増え池袋に新規サイクリストが増えています。
アト・カル都市に選定され、多くの劇場等が整備されていますが、文化系施設に加えて、体を動かす運動系の施設を東口エリアに新たに設けることでアト・カルを多角的に強化することが出来ます。

3. シェアサイクルが繋ぐ東西の劇場都市

豊島区が導入を検討しているシェアサイクルポートの先行導入ポイントを対象エリア内に設けます。これにより、東口から西口まで広がる劇場都市を容易に行き来することが出来るようになります。
この場所が豊島区の新しい交通ハブとして機能することで、区民にとっての池袋周辺を散策する新たな移動手段になるだけでなく、国内外から訪れるビジターの観光を助けることで今まで以上のインバウンドを期待出来ます。更に、池袋を観光するビジターがシェアサイクルに乗り街中を周遊することで利用者が媒体となり、豊島区が目指すリアルな劇場都市を世界中の方々に体感して頂けると考えます。

4. これから自転車を好きになる方にも優しく、サイクリストのニーズにも応えた新しい自転車の複合施設

車だけでなく自転車や人の往来も多い 6 つの道路が合流する交差点に、自転車や新しいパーソナルモビリティに触れられる体験型の複合施設を計画します。
サイクリストのための広いメンテナンスピットや、多様なイベントに利用出来るイベントスペース、子供も楽しめる自転車のテストライドトラックがあります。更に、街ブラをしながら気軽に休めるカフェやビジターのお土産にも役立つショップがあります。シェアサイクルポートと駐輪場は緑豊かなガーデントラックと共に計画することでこれまでにない空間体験を演出します。

5. 東京五輪 2020 以降も持続する人気

自転車競技が東京五輪の種目であることから 2020 年以降も自転車人気は更に高まると考えます。この施設が生まれることで、すでに人気の高いロードバイクだけでなく、BMX やクロスカントリー等多様な自転車競技があることを宣伝する役割を果たします。
これにより、アト・カル都市としての文化発信に加え、スポ・カル都市としても周知されていくことで、区民の文化意識だけでなく健康意識を高めていくことが出来ると考えます。

6. 低コストで実現可能な構法と仕上

構造はシンプルな鉄骨グリッドとします。仕上には折板屋根、セメント板の外壁など汎用性の高い素材を用いることで低コストでの実現を可能にします。
トラックにはグリップの強い合成ゴムを使用することで、子供からお年寄りまで安全に利用出来ます。

7. 多様な利用方法で収益を生む

イベントスペースはシンプルな構成のため多様な用途に対応しており、未使用時は貸すことで収益を生むことが出来ます。

屋内イベントスペースとひとつながりのイベント広場

ガーデントラックとシェアサイクルポート

立体的なテストライドトラック

西側立面